



GEKKAN ORIMOTO

月刊 織本

11

2011年11月1日 Vol.207

発行 医療法人財団 織本病院

印刷 〒204-0002

東京都清瀬市旭が丘 1-261

TEL 042-491-2121

URL <http://www.orimoto.or.jp/>

発行人 高木 由利



第60回 織本病院開院記念式典

理事長・院長 高木 由利



今年は期待通りの秋がなかなか訪れないし、紅葉も随分遅れているようです。しかしこの気候のおかげか、私の腎不全の患者さん達は風邪もひかずに元気に過ごしていらっしゃるのです。その姿を見ていると慢性疾患の方々のためには、四季の移り変わりがあまりはっきりしていない方が良いのかもしれないと思いました。

* * *

10月20日（木）、第60回織本病院開院記念式典が4階オリモトホールで開かれました。今年は10年勤続者2名、20年勤続者1名で恒例の永年勤続者表彰式を行いました。そして新しい企画で、昨年10月の開院式以降に就職した新人を全員名前を呼んで紹介



したのです。丁度、入学式のような形になりました。新人が32名いたのですが、私は永年勤続者の表彰と紹介、そして更に新人1人1人の名前を呼び上げ紹介しながら、病院が変化していることをはっきりと感じました。

私が理事長になったのは42歳の時です。それから18年間、病院は改革をし続けてきたのですが、この2～3年でまた大きく変化し、理念に基づく病院革命が起きているのです。革命が起きる時は様々な事件は付き物ですが、それは18年前、私が理事長になった時も同じでした。織本病院の歴史上初めての事件がたて続けに起きた時、私は自分が理事長として相応しくないのではないかと随分悩みました。しかし今は何故その様なことが起きたのか、よく分かります。事件が起きると人は悩み考え、どの様に解決したら良いかを皆で話し合います。そして1つの事件が解決することで共に喜び、成長するのだと思います。言い方を変わると、1つ1つの事件は私達に与えられた試練かもしれません。もし試練だとすれば、それは私達が乗り越えられないような試練はないはずですし、更に試練を乗り越えることで練られた品性が与えられると聞いています。練られた品性など努力しても得られるもの

ではないのですから、試練は私達人間にとって、とても大切なことだと私は考えています。

今年は60回開院式、つまり数えの60歳ですが、来年はいよいよ病院は満60歳になります。この厳しい医療情勢の中で織本病院が満60歳を迎えられることに私は誇りを感じています。それは当院の全ての職

員達の努力であり、当院を慕って信じてくださる患者さんやご家族お1人1人によるものであり、また当院を支えてくださる医師会や歯科医師会をはじめ、多くの方々のお力とご厚意によるものと心から感謝しております。

ブランドと仕事 ⑦

専務理事・事務部長 箕輪比呂志



私にとって異常に暑いと感じた今年の夏は、10月の中旬過ぎになり、やっと終息を迎えた感があります。ここ数年は季節の移り変わりが曖昧で、季節感が無くなったようにも感じます。

40年程前に亡くなった私の祖父は、長野県の菅平高原で高原野菜作りをしていました。戦後の菅平高原の開拓者だと聞いています。私の母は、世界の異常気象に触れるたびに祖父の言った言葉を思い出そうです。「終戦の頃と較べて、菅平高原の夏の気温が毎年上昇してきている。将来、地球規模で大きな環境変化があるかもしれない。大変な時代が来るかもしれない。」これが祖父の残した言葉でした。恐らく、高原野菜を育てる上で気温が影響するのでしょう。私は祖父母が亡くなった後も、大学時代まで祖父母との思い出の地である菅平高原で夏は避暑、冬はスキーと自然を満喫することができました。病に倒れ、74歳で亡くなる直前まで勉強熱心な祖父でした。



— 菅平の祖父と —

* * *

10月20日（木）、オリモトホールにて、第60回開院式を行いました。今年から新たに新人紹介の時間を設けました。今年8月号で織本ブランドに

磨きをかけていく為に職員の

皆さんの力が必要だと書きました。既に当院で働いている職員には、新たに当院のメンバーに加わった人を知ってもらい、新人には新たな職場でのスタートに際して、組織との一体感を感じてもらえたらと思います。新旧メンバーが有機的に関わり、更に織本ブランドが磨かれると信じています。

* * *

8月のある日、医療事務、介護事務、医師事務作業補助の方々を教育、育成するNPO法人の代表の方から、教室の実践演習コースの一環として当院の沿革、実務等を勉強させて欲しいとのご依頼がありました。対象は、将来、病院業務に携わるために教室に通っている清瀬市や周辺の市にお住まいの方々でした。10数名の方々をお迎えするので、会議室、パワーポイント（スライド）を使い、当院の腎疾患ゼミナールをはじめとしたイベントの紹介並びに、その目的にも触れました。その後、ホールや病棟、ドックルーム、医事業務室などをご案内して解散とさせて頂きました。限られた時間でしたが喜んで頂けた様子でしたのでほっとしました。すると、その翌週から嬉しい出来事が起こりました。それは、見学をされた方々から6通のお礼状が届いたのです。その内容を一部の文面に限られますが共有したいと思います。

「創立60周年を迎える歴史ある病院、そして、清潔なイメージは、通院、入院される患者様にも気分の良いものだと思います。これからも素敵な病院であって下さい。」

「腎疾患ゼミナールに偶然に参加させて頂きました。

腎不全の食事療法の大切さを知りました。食塩の微調整に驚き、熱中症対策の間違った情報も教わりました。家庭で“ながら運動”を実行しています。」

「改めて地域に密着した地域住民にとって大切な病院であることを認識しました。」

「清潔で快適で暖かくユニークな空間に感動し、病院への熱い思いと高い理想を感じました。」

「日本がこのような状況下で勉強させて頂けることに感謝の念を持ちながら、自分はまだまだ努力を重ねていくべきだと再確認いたしました。職員の方々や院内の至る所で感じ取れるホスピタリティーに心洗われる貴重な1日となりました。癒しが地域や患者様の支えとなっているのだと感じました。」

「病院内はとても明るく、癒される空間で今まで思い描いていた病院像を覆すような驚きがありました。」

過分なお言葉をたくさん頂きましたが、私はとても嬉しくもあり、不足している点多々ありますので身が引き締まる思いがしました。このことから職員の皆さんに感じて欲しいことの1つは、この院内見学を通じて織本病院の理念やビジョンを伝えられたという自信です。もう1つはブランド創りの冒頭でも書きましたが、職場は舞台であり、皆さん方の言動が観察されているということです。

織本病院の主役は1人ではなく、人間の体で不要な部分は無いとの例え通り、職員全員がそれぞれの役割を担っていることを認識して下さい。

新任のごあいさつ

看護部長 兼 メディカルセンター長 鈴木 秀明



平成23年3月11日午後2時46分、東日本大震災が発生し多くの方が被害に遭われました。現在もお、避難生活を強いられています。心よりお見舞い申し上げます。また、1日も早い復興をお祈り致します。

この10月より織本病院で働くことになりました、鈴木 秀明と申します。看護部長兼務メディカルセンター長就任にあたりご挨拶申し上げます。

看護部は、病院の理念やシステム、地域性など病院が変われば内容も変わり、看護部としての姿勢も様々です。私も看護部長として1日も早く仕事に慣れ、皆様の足手まといにならないよう努力してまいります。

近頃は病院経営の状況が変わり、医療や経営の事を真剣に考え取り組まなければ、存続が難しい時代になりました。病院として経営していくには、良い医療、サービスの提供が不可欠です。患者様に選ばれる病院を目指すことは『病院としてあるべき姿』を目指すこと、理念に基づき『患者様に安心・満足して頂き、職員も癒され、いたわり合う』事を実践して、地域に喜んで頂ける『常に一流を目指す』病院作りに、看護の

立場から参加させていただきます。

私は無趣味が取り柄なのですが、向学心と探究心だけは人には負けません。信じて頂けるかは別として、なんちゃって役者もやっています。テレビや映画を見られる時、よく見ていると一瞬ですが映っているかも知れませんよ。あとは、前文にも記載しましたが、災害現場にはよく出向きます。活動は国内外に至っています。大規模な災害では、阪神大震災から始まりドミニカ共和国・コロンビア共和国・中越地震などで、東日本大震災の際には約5ヶ月間活動をしていました。災害時での事を語りだすと長くなりますので、災害時のエピソードは別の機会にします。

“ころころ”は誰にも見えないけれど、

“ころづかい”は見える。

“思い”は見えないけれど、

“思いやり”は誰にでも見える。

震災後、毎日のようにテレビで放映されていました。『行動で示す』ことの大切さを痛感しています。

私もまだまだ成長の途上にあります。皆様のご指導が頂けますよう、よろしくお願い申し上げます。

アコースティックギターデュオ Healing Art コンサート

2011年11月16日(水)
14:30pm 開場 15:00pm 開演
2F ラウンジ
入場無料

2本のギターで織り成すギターバラード Healing Guitar (ヒーリングギター) をコンセプトとしたギターデュオ。青空、星空、雪景色などの自然の風景... 人の優しさや切なさ... そんな情景や心情の見えるハートフルなギターミュージックです。

当院でのコンサートが3回目となる今回は、曲のイメージに合わせて様々な情景の映像を交えて演奏して下さいます。また、当日は今年8月にリリースされたヒーリングアートのファーストアルバム『約束』をご購入頂くこともできます。皆さん、是非聴きにいらしてください。

女性外来診療日変更のお知らせ

いつも月刊織本をご愛読頂きありがとうございます。

先月の月刊織本10月号でご案内させて頂きました『女性外来』の診療日が左記の通り変更となりましたのでお知らせ致します。

女性外来診療日

- ◎ 毎週 木曜日 (午後)
- ◎ 第2 土曜日 (午前)
- ◎ 第3 土曜日 (午後)
- ◎ 第4・5 土曜日 (午前・午後)

第127回 腎疾患ゼミナール

『あなたと私と腎不全 ⑨』 腎臓内科：高木由利



栄養科からのワンポイントアドバイス

『でんぷん楽らくうどんを使って

“きのこあんかけうどん”を作ろう!!』 管理栄養士：重野 隆幸

レシピ・
試食付

日時：2011年11月17日(木)
午後1:00～
会場：オリモトホール(当院4F)
参加費：無料

